

札幌市と北海学園大学及び北海商科大学が2年前に締結した「包括的な連携に関する協定」に基づき、人材育成や地元定着（まちづくりプロジェクト、市職員の出前授業など）および人口減少下の政策立案（人口ダム機能に関する共同研究）の進捗状況を共有しました。

1. 概要

(1) 日時：8/21（金）10：00～11：00

(2) 場所：北海学園大学 国際会議場

(3) 出席者

➤ 札幌市

秋元 克広 札幌市 市長 他

➤ 学校法人北海学園

山崎 省一 理事長

➤ 北海学園大学

森下 宏美 北海学園大学 学長 他

学生

2025年度まちづくりPJチーム

2026年度まちづくりPJ学生（人口流出チーム、CSRチーム）

➤ 北海商科大学

堂徳 将人 北海商科大学 学長 他

学生

2025年度のまちづくりPJチーム

2. 内容 総合司会：柴田 敬司 北海学園大学 北方共創圏研究センター 事務長

(1) 理事長・三者トップのあいさつ、参加者紹介

(2) 連携・協働の取り組み 進行：池ノ上 真一 北海商科大学 教授

1 人材の育成及び地元定着に関する事項

(1)札幌市・北海学園大学・北海商科大学 まちづくりプロジェクト

(2)札幌市出前授業：特殊講義Ⅲ（北海道創生プログラムA）

(3)札幌マチヅクリ大学

2 人口減少下における政策立案に関する事項

(1)人口ダム機能に関する共同研究（札幌 INDEX・札幌 PARTNERSHIP プロジェクト）の進捗

(3) これからに向けた協議 進行：上園 昌武 北海学園大学 教授

1 大学から次年度の取り組みの提案

2 市長による応答

3 学生の感想



前列左から堂徳北海商科大学長、山崎北海学園理事長、秋元札幌市長、森下北海学園大学長と参加学生



会談風景